



令和三年度 各部会の活動実績報告

令和三年度は、各部会独自の活動に加えて、全部会の共同事業として「子ども見守り活動」事業をスタートしました

部会報告 防災減災部会

部会長 尾坂清

合同防災訓練を11月14日に予定しておりましたが、コロナ禍の為に中止しました。

第一回部会（5月14日）◆自己紹介、部会長の選出◆各自自治会長より防災についての情報交換

第二回部会（7月16日）◆合同防災訓練（9自治会）について◆地区防災拠点（7避難所）打ち合せ会確認

◆感震ブレイカー申請状況確認

第三回部会（8月17日）◆「子ども見守り活動」実態調査について

鶴嶺東地区まちぢから協議会の全部会共通事業として防災減災部会は鶴嶺小学校・鶴嶺中学校の2校を担当した◆感震ブレイカー申請

6自治会209台申請済

第四回部会（11月19日）◆各自自治会の連絡網・組織表提出◆各自自治会の防災訓練状況確認

第五回部会（1月14日）◆各自自主防災会の連絡網・組織表最終確認

9自治会の避難所別組織表がほぼ完了◆感震ブレイカー申請 最終計7自治会223台◆防災用トランシーバー（27台）状況確認

2016年鶴嶺東地区連合会より支給品 機器の管理表作成する◆街頭消火器等を「あなたの街」地図に記載

街頭消火器・移動式格納庫・防災倉庫を鶴嶺東地区まちぢから協議会の共同事項として、各自自治会区内を3月末までに調査し来年度早々に地図を作成する

部会報告 環境安全部会

部会長 八野多加志

第一回部会（5月14日）自己紹介、部会長、副部会長選出 全体会議での指示で各学区での安全な登下校について意見交換

報告の纏め方について次回までに項目のたたき台を準備する事を決定

第二回部会（7月16日）たき台を基に浜之郷小学校及び鶴が台中学校に各3名で訪問し、学校側が把握している現状を聞き取り調査

実施 主に登下校路の危険箇所・見守り場所・改善要望を纏めて協議会本部に提出

第三回部会（11月19日）部会内で調査報告の詳細を説明し情報を共有

第四回部会（1月14日）今後も児童生徒の安全な登下校を継続して見守ることが重要である事を確認

来年度はゴミ収集の有料化に伴う違法投棄の見守りが重要になるとを確認

児童生徒が安全に登下校できる環境を調査することによって多くの問題がある事が判明した。今後は多くの方々の協力を得ながら見守り活動をより推進し、住民が安心できる環境づくりに努めていきたいと思ひます。

部会報告 青少年育成部会

部会長 山上 壽子

第一回部会（5月14日）◆自己紹介、部会長の選出◆まちぢからにおける今年度の活動方針の確認

第二回部会（7月16日）◆学区ごとの見守り状況聞き取り調査に向けて◆コロナ禍における活動の難しさと、部会構成メンバーが仕事を休むと子育て現役保護者であることから日程調整も難しく、話し合いの結果、学区の代表が担当することに決定

部会報告 高齢者活性部会

部会長 下江 晴治

令和三年度の活動もオミクロン株の急拡大に伴い、外での活動に限られております。見守り・清掃・ウォーキング等は5、6名で間隔を保ちながら活動しています。

仲間との会話や共同作業を通じることで絆を深め、健康にも良い結果になるのではないのでしょうか。個人ではウォーキングなどで一日の目標を作り実行してみるのも一つの方法だと思ひます。コロナ禍が下方傾向になれば各地区にてサ

との見守り状況聞き取り調査に向けて◆コロナ禍における活動の難しさと、部会構成メンバーが仕事を休むと子育て現役保護者であることから日程調整も難しく、話し合いの結果、学区の代表が担当することに決定

第三回部会（11月19日）◆聞き取り調査報告◆学区における意見交換 事件・事故について心配な事案の共有。学校、地域での子ども様子について意見交換◆旗の有効活用について意見交換

第四回部会（1月14日）◆令和3年度の振り返り 部会構成メンバー各々が所属している団体からの代表（1年交代のメンバーが多い）ということもあり、部会独自の活動を見出すことが難しく、立ち上げ当初から情報交換が中心の活動となっていました。

今年度まちぢから全体の活動テーマが設けられ、聞き取り調査の実施と結果を聞き、改めて子どもたちが見守られている地域で生活をしていくことを実感したとの声が多くありました。現役世代の活動への協力は大変な面も多くありますが、出来る時に出来る活動を呼びかけていきたいと思ひます。

今年度まちぢから全体の活動テーマが設けられ、聞き取り調査の実施と結果を聞き、改めて子どもたちが見守られている地域で生活をしていくことを実感したとの声が多くありました。現役世代の活動への協力は大変な面も多くありますが、出来る時に出来る活動を呼びかけていきたいと思ひます。

今年度まちぢから全体の活動テーマが設けられ、聞き取り調査の実施と結果を聞き、改めて子どもたちが見守られている地域で生活をしていくことを実感したとの声が多くありました。現役世代の活動への協力は大変な面も多くありますが、出来る時に出来る活動を呼びかけていきたいと思ひます。

今年度まちぢから全体の活動テーマが設けられ、聞き取り調査の実施と結果を聞き、改めて子どもたちが見守られている地域で生活をしていくことを実感したとの声が多くありました。現役世代の活動への協力は大変な面も多くありますが、出来る時に出来る活動を呼びかけていきたいと思ひます。

今年度まちぢから全体の活動テーマが設けられ、聞き取り調査の実施と結果を聞き、改めて子どもたちが見守られている地域で生活をしていくことを実感したとの声が多くありました。現役世代の活動への協力は大変な面も多くありますが、出来る時に出来る活動を呼びかけていきたいと思ひます。

今年度まちぢから全体の活動テーマが設けられ、聞き取り調査の実施と結果を聞き、改めて子どもたちが見守られている地域で生活をしていくことを実感したとの声が多くありました。現役世代の活動への協力は大変な面も多くありますが、出来る時に出来る活動を呼びかけていきたいと思ひます。

今年度まちぢから全体の活動テーマが設けられ、聞き取り調査の実施と結果を聞き、改めて子どもたちが見守られている地域で生活をしていくことを実感したとの声が多くありました。現役世代の活動への協力は大変な面も多くありますが、出来る時に出来る活動を呼びかけていきたいと思ひます。

部会報告 地域福祉部会

部会長 坪井 一樹

本年度令和三年もコロナ騒動に翻弄された年でした。福祉部会としての課題が見送りとりました。

一方、まちぢから協議会より各部会共通の大きな課題「子どもの見守り活動」が提示されました。実情調査から始まり、当地区の通学路危険箇所、防犯危険箇所、見守り講習、情報交換などの実態が明確化されつつ改善の方向に向かい、終わりのない活動になったこととは有意義でした。

当地区は養護学校を含む小・中学校8校があり、その内2校を実情調査させていただきました。それぞれの代表者様は真剣に問題点を捉えられていて改善を図る上で参考になりました。

全国的に危険通学路の見直しの時期とも重なりタイムリーな課題であったと思ひます。

具現化に基づいて子どもの安心、安全に繋げていきたいと思ひます。

具現化に基づいて子どもの安心、安全に繋げていきたいと思ひます。

具現化に基づいて子どもの安心、安全に繋げていきたいと思ひます。

具現化に基づいて子どもの安心、安全に繋げていきたいと思ひます。

具現化に基づいて子どもの安心、安全に繋げていきたいと思ひます。

具現化に基づいて子どもの安心、安全に繋げていきたいと思ひます。

具現化に基づいて子どもの安心、安全に繋げていきたいと思ひます。

具現化に基づいて子どもの安心、安全に繋げていきたいと思ひます。

「地域の子どもは地域で守る・育む、

地域も子どもと共に育つ」

をスローガンとし、鶴嶺東地区まちぢから協議会は
全部会一丸となつて「子どもを守る活動」を事業
 として今年度からスタートしました。

鶴嶺東地区には小学校4校、中学校3校そして養護学校1校の
 計8校があり、生徒数は約四千名に及びます。一方、当該地区
 の通学路には、国道、県道、鉄道踏切、狭隘かつ自動車の往来
 多い道路、狭い道路、交通量の多い交差点など危険な箇所が多
 く存在するため、交通安全や防犯のリスクを地域ぐるみで低減
 していくことが求められています。

子どもの見守り活動はそれぞれの学区ごとに通学時を中心とし
 て実施されています。しかし、他学区間の取り組みについての
 情報共有の仕組みがないため、他学区の取り組みの良いところ
 を取り入れたり、問題・課題の共有化ができていませんでした。

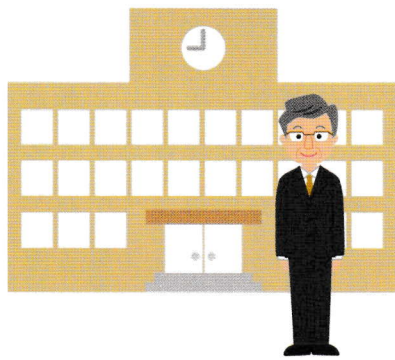
そこでまず、昨年7月から9月にかけて、各校の見守り活動に
 現状調査を部会ごとに分担して行いました。調査の結果とし
 て、鶴嶺小学校区における取り組みは見守り活動の手本にな
 りうる事がわかり、11月開催の全部会で調査・結果の情報
 共有を行いました。同学校区の取り組みは単に見守りだけ
 とどまらない活動になっています。毎年通学路の危険箇所を
 パトロールにより把握し、その結果をもとに見守りを実施し
 ています。またこうした活動をリードする「鶴嶺学区の子ど
 もを守る会」を立ち上げて、交通安全教室や歩行訓練などの
 子どもへの教育、通学路ミーティングによる子どもと保護者
 への啓蒙、見守り講習会の実施による見守る人への教育、情
 報交換会を通じた関係者間の情報共有など、学区全体にも広
 報活動を通じて知らせています。活動概要を左上図にまとめ
 ました。



て開始しましたが、今後は地域の方にも参加をお願いしたいと考えています。
 る時に出来るだけしていただければ十分です。

見守り関係者（鶴嶺小学校区の子どもを守る会）の活動

鶴嶺小学校区青少年育成推進協議会が事務局となり、鶴嶺小・中、小・中PTA、学区内自治会、警察などが参画し、登下校時の通学路での見守りを中心とした幅広い活動を展開している

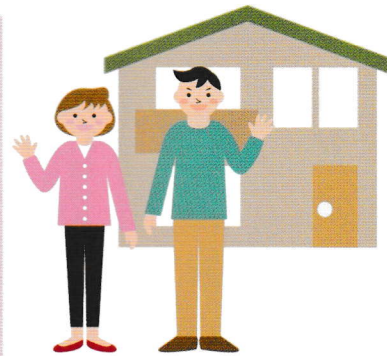


学校教職員

見守り関係者



児童



保護者

通学路危険箇所チェック

見守り講習会

交通安全教室

歩行訓練

情報交換会

通学路コース・ミーティング

広報活動



10月に本協議会の「子どもを見守る活動」は市の認定コミュニティ特定事業として認められ、助成金を得ることができました。主に見守り活動のツールとして見守り旗の作成費用に使用しました。目立つ可愛らしいデザインが好評です。作成した見守り旗の関係者への配布も開始し、見守り活動に活用していきま

す。

写真は見守り旗を持つ森谷会長で、旗には協議会シンボルマーク「鶴のマーク」もあしらっております。

ご協力の
お願い

今年度の見守り活動は主にまちぢから協議会の関係者によっ
ご自宅の前で、見守り旗を持ったの児童への声かけを、出来

令和3年度鶴嶺東地区防災訓練結果

鶴嶺東自主防災連合会 会長 尾坂 清

区域内の全災害対策地区防災拠点を利用し各自治会が同じ日に一斉に実施する予定でしたが新型コロナウイルス禍を踏まえて合同訓練は中止し、9自治会が独自に安否確認などを実施しました。

自治会名	実施日・時間	訓練場所	訓練種目	参加人数	費用
円蔵	11月14日 8:50~11:00	自治会から組長宅、円蔵地内	班長が班内の状況確認→組長(無線使用)→本部	250	—
矢畑	11月14日 8:30~11:30	第一次避難場所 矢畑自治会館(本部) 本社宮境内	安否確認(自治会員・避難行動要支援者)、防災用備品展示説明会	187	—
西久保	11月14日 9:00~10:45	自治会館	安否確認(要支援者含む) 白色タオル掲示確認	100	ヘルメット更新
浜之郷	11月14日 9:00~12:00	顔見せ場(115グループ) 自治会本部	安否確認(要援護者として3歳以下含む)、安否確認表更新、事前説明会、無線機電波障害解消用アンテナ・ポータブル電源展示	3518 参加率 80.3% 1213軒	—
下町屋	11月14日 8:00~10:30	自治会館	安否確認、発電機など器具取扱い訓練、防災倉庫備品チェック、防災マニュアル説明	87	34,298 予備ガスバーナー
TBS	11月14日 8:00~10:45	自治会館(自治会本部)	安否確認、要支援者へ声掛け	60	148,500 折りたたみ式水保存袋
サニータウン 茅ヶ崎	10月24日 9:00~11:00	管理事務所 防災倉庫	防災本部立上げ、情報収集、非常用発電機稼働、無線機通信確認	12	—
ホームタウン 茅ヶ崎	11月14日 9:00~10:30	集会所	安否確認 防災備品見学	278	24,410 避難行動リーフレット
ライオンズ 茅ヶ崎ザ・アイランズ	11月14日 13:30~15:00	コミュニティルーム	防災ミーティング	20	—



**最新情報は
ホームページから**

鶴嶺東地区まちぢから協議会の最新情報をご覧ください

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会

▶トップページで鶴嶺東地区をクリック!

鶴嶺東地区
まちぢから協議会
広報部会

松本 楯臣
大澤 純
仲原 順子

今年度は新型コロナウイルス禍の中で何ができたか模索し続けた一年でした。一時でも早い収束を願うばかりです。



編集後記